

- 1 章 1 はじめに(בְּרֵאשִׁית)、神(אֱלֹהִים)が天(הַשָּׁמַיִם)と地(הָאָרֶץ)を創造された(בְּרָא)。
- 2 地(הָאָרֶץ)は茫漠として何もなく(תְּהוֹ וְבֵהוּ)、闇(חֹשֶׁךְ)が大水(תְּהוֹם)の面の上に(עַל־פְּנֵי)あり(הָיָה)、神の霊(רוּחַ)がその水(הַמַּיִם)の面を(עַל־פְּנֵי)動いていた(רָחַף)。
- 3 神は仰せられた(וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים)。「光(אֹר)」、あれ(הָיָה)。」すると光があった(וַיְהִי אֹר)。
- 4 神は光を良しと(בְּיָטוֹב)見られた(רָאָה)。神は光と(בֵּין הָאֹר)と闇を(בֵּין הַחֹשֶׁךְ)分けられた(בָּדַל)。
- 5 神は光を昼(יוֹם)と名づけ(קָרָא)、闇を夜(לַיְלָה)と名づけられた(קָרָא)。夕があり(וַיְהִי עֶרֶב)、朝があった(וַיְהִי בֹקֶר)。第一日(יּוֹם אֶחָד)。〔※「第一日」(יּוֹם אֶחָד)〕
- 6 神は仰せられた(וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים)。「大空(רַקִּיעַ)よ、水(הַמַּיִם)の真ただ中に(בְּתוֹךְ)あれ。水(מַיִם)と水(מַיִם)の間を(בֵּין)分ける(בָּדַל)ものとなれ。」
- 7 神は大空を造り(עָשָׂה)、大空の下に(מִתַּחַת)ある水(בֵּין הַמַּיִם)と大空の上に(מֵעַל)ある水(בֵּין הַמַּיִם)を分けられた(בָּדַל)。すると、そのようになった(וַיְהִי כֵן)。
- 8 神は大空(רַקִּיעַ)を天(שָׁמַיִם)と名づけられた(קָרָא)。夕があり(וַיְהִי עֶרֶב)、朝があった(וַיְהִי בֹקֶר)。第二日(יּוֹם שֵׁנִי)。
- 9 神は仰せられた(וַיֹּאמֶר אֱלֹהִים)。「天の下の水は一つの所(מְקוֹם אֶחָד)に集まれ(קָוָה)。乾いた所(בְּבִשָּׁה)が現れよ。」すると、そのようになった(וַיְהִי כֵן)。
- 10 神は乾いた所(בְּבִשָּׁה)を地(אֶרֶץ)と名づけ、水の集まった所を海(יַמִּים)と名づけられた。神はそれを良しと見られた。
- 11 神は仰せられた。「地(הָאָרֶץ)は植物(דָּשָׁא)を、種(זֵרַע)のできる草(עֵשְׂב)や、種(זֵרַע)の入った実を結ぶ果樹(עֵץ פְּרִי)を、種類(מִין)ごとに地の上に芽生えさせよ(דָּשָׂא)。」すると、そのようになった(וַיְהִי כֵן)。
- 12 地は植物を、すなわち、種のできる草を種類ごとに、また種の入った実を結ぶ木を種類ごとに生じさせた(וַיַּצֵּא)。神はそれを良しと見られた。
- 13 夕があり(וַיְהִי עֶרֶב)、朝があった(וַיְהִי בֹקֶר)。第三日(יּוֹם שְׁלִישִׁי)。
- 14 神は仰せられた。「光る物(מְאֹרֹת)が天の大空(רַקִּיעַ)にあれ。昼(הַיּוֹם)と夜(הַלַּיְלָה)を分けよ(בָּדַל)。定められた時々(מוֹעֲדִים)のため、日(יָמִים)と年(שָׁנִים)のためのしるし(אוֹת)となれ。」
- 15 また天の大空で光る物となり、地の上を照らす(אֹר)ようになれ。」すると、そのようになった(וַיְהִי כֵן)。
- 16 神は二つの大きな光る物を造られた(עָשָׂה)。大きい(גָּדוֹל)ほうの光る物には昼(הַיּוֹם)を治め(מְמַשְׁלָה)させ、小さい(קָטָן)ほうの光る物には夜(הַלַּיְלָה)を治めさせた。また星(כּוֹכָבִים)も造られた(עָשָׂה)。
- 17 神はそれらを天の大空に置き(נָתַן)、地の上を照らさせ(אֹר)、
- 18 また昼と夜を治めさせ、光と闇を分けるようにされた(בָּדַל)。神はそれを良しと見られた。
- 19 夕があり(וַיְהִי עֶרֶב)、朝があった(וַיְהִי בֹקֶר)。第四日(יּוֹם רְבִיעִי)。

- 20 神は仰せられた。「水(הַמַּיִם)には生き物(הַחַיָּה נִפְשׁוֹת)が群がれ(רָצַף)。鳥(עוֹף)は地の上、天の大空(שָׁמַיִם)を飛べ(עָרַף)。」
- 21 神は、海の巨獣(תַּנִּינִים)と、水に群がりうごめくすべての生き物を種類ごとに、また翼(כַּנְּף)のあるすべての鳥を種類ごとに創造された(בָּרָא)。神はそれを良しと見られた。
- 22 神はそれらを祝福して(בָּרַךְ)、「生めよ(פָּרָה)。増えよ(רָבָה)。海の水に満ちよ(מָלֵא)。鳥(הָעוֹף)は地の上に増えよ」と仰せられた。
- 23 夕があり(וַיְהִי עֶרֶב)、朝があった(וַיְהִי בֹקֶר)。第五日(יּוֹם הַחֲמִישִׁי)。

- 24 神は仰せられた。「地(הָאָרֶץ)は生き物(הַחַיָּה נִפְשׁוֹת)を種類ごとに、家畜(בְּהֵמָה)や、這うもの(רֶמֶשׂ)、地の獣(חַיְתוֹאֲרָץ)を種類ごとに生じよ(יָצָא)。」すると、そのようになった(וַיְהִי כֵן)。
- 25 神は、地の獣を種類ごとに、家畜を種類ごとに、地面を這うすべてのものを種類ごとに造られた(עָשָׂה)。神はそれを良しと見られた。
- 26 神は仰せられた。「さあ、人(אָדָם)をわれわれのかたち(צֶלֶם)として、われわれの似姿(דְמוּת)に造ろう(עָשָׂה)。こうして彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配する(רָדָה)ようにしよう。」
- 27 神は人(הָאָדָם)をご自身のかたち(צֶלֶם)として創造された(בָּרָא)。神のかたち(צֶלֶם)として人を創造し(בָּרָא)、男(זָכָר)と女(נְקֵבָה)に彼らを創造された(בָּרָא)。
- 28 神は彼らを祝福された(בָּרַךְ)。神は彼らに仰せられた。「生めよ。増えよ。地に満ちよ。地を従えよ(כָּבַשׁ)。海の魚、空の鳥、地の上を這うすべての生き物を支配せよ(רָדָה)。」
- 29 神は仰せられた。「見よ(הִנֵּה)。わたしは、地の全面にある、種のできるすべての草(עֵשֶׂב)と、種の入った実のあるすべての木(עֵץ)を、今あなたがたに与える。あなたがたにとってそれは食物(אֲכָלָה)となる。
- 30 また、生きるいのちのある、地のすべての獣、空のすべての鳥、地の上を這うすべてのもののために、すべての緑の草(עֵשֶׂב יֵרֶק)を食物として与える。」すると、そのようになった(וַיְהִי כֵן)。
- 31 神はご自分が造ったすべてのものを見られた。見よ(הִנֵּה)、それは非常に良かった(טוֹב מְאֹד)。夕があり(וַיְהִי עֶרֶב)、朝があった(וַיְהִי בֹקֶר)。第六日(יּוֹם הַשֵּׁשִׁי)。

2 章

- 1 こうして天(הַשָּׁמַיִם)と地(הָאָרֶץ)とその万象(כָּל־צַבָּא)が完成した(פָּלָה)。
- 2 神は第七日(יּוֹם הַשְּׁבִיעִי)に、なさっていた(עָשָׂה)わざ(מְלָאכָה)を完成し(פָּלָה)、第七日に、なさっていたすべてのわざをやめられた(שָׁבַת)。
- 3 神は第七日を祝福し(בָּרַךְ)、この日を聖なるものとされた(קִדְשׁ)。その日に神が、なさっていたすべての創造(בָּרָא)のわざ(מְלָאכָה)をやめられた(שָׁבַת)からである。
- 4 a これは(אֵלֶּה)、天(הַשָּׁמַיִם)と地(הָאָרֶץ)が創造された(בָּרָא)ときの経緯(תּוֹלְדוֹת)である。
(※(אֵלֶּה)=これらが תּוֹלְדוֹת =由来、次第)